alT

多摩美術大学校友会会報

The alumni association of
Tama Art University

No. 8 2002 Autumn

発行日：2002年11月10日
編集発行：多摩美術大学校友会事務局
〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34 多摩美術大学内
tel.03-5758-7738
fax.03-5758-7739
E-mail：kouyukai@tamabi.ac.jp
URL：http://www.tamabi.ac.jp/alt/

会報誌名「alT」（アルティ）は英文表記の The alumni association of Tama Art University を略して，創作した名称です。

- 講演録 — 天野祐吉
- 挨拶 — 会長・副会長・（新）役員
- 多摩美術大学校友会奨学金
- 第8回定期総会議事録・収支報告書・予算
- 事務局だより — 支部・有志活動ニュース（お知らせ・ご報告）

多摩美術大学生涯学習プログラム特別講座
後援：多摩美術大学校友会

芸術と人生「谷内六郎の宇宙」 -震える詩心で描きつづけた日本人の原風景-

天野祐吉（コラムニスト・童話作家）

当日の会場風景（上野毛キャンパス講堂）

谷内さんにお目にかかったのは，かれこれ半世紀まえ。僕がまだ，20代半ばの駆け出しの編集者で，連載の原稿をお願いに行ったのが最初です。

とっても優しい反面，とっても厳しい。ちょっと意地悪なところもあったり。それから人間の滑稽さについてはとっても素晴らしい洞察力を持っていて，テレビで誰かが大真面目にしゃべっていると，すぐ吹き出す人だったですね。どうして人間って，あんな心にもないことで大真面目な顔して言えるんだろうという。その人間の滑稽さみたいなものが，とってもおかしかったんだろうと思います。

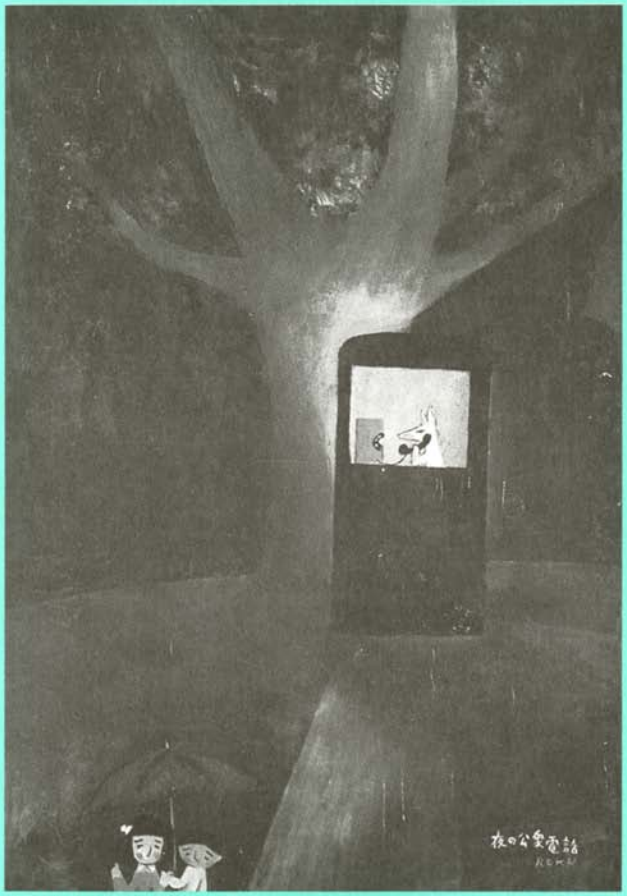
谷内さんは，絵描きさんとしても素晴らしいんですが，文章もとってもいいんですね。僕の文章の先生は谷内さんなんです。直接，教わったわけじゃなくて，自分が勝手に彼のことを先生だと思っているわけですが。文章ってこんなふうに書けばいいのかって，「目から鱗」って言葉がありますが，そういう感じが彼

の連載を毎月読んでいるうちにしてきたんですね。それまでは，なんていうか文章ってすごく格好つけて書いていた。皆さんもそうだと思いますが，文章を書くとき，どうしても二枚目意識が顔を出すんですね。どうやったらその二枚目意識を捨てられるかっていうところがカギだと思うんですね。谷内さんは，始めからそういうものを持っていない。スポーンと捨てて，そこにある風景をそのまま文字にしているんですね。

谷内さんは，日本の原風景を描きつづけたすごい画家だと，僕は思っています。谷内さんが特に大事にしていたのは「畏れ」（おそれ）っていう感情ではないか。目に見えないものへの畏れというのを人間は，ずっと感じてきた。それが，いまはどんどんなくなってきてますね。つまり広い意味の宗教的感情がどんどん無くなってきているのが現代ですが，それを無くしたのは何かといえば科学ですね。科学主義というのは，そういう目に見えないものは迷信だと排除していく。この世界は全部理屈ではっきり計算がつくんだって明示していく。どんどん世界を。ところがどっこい，明示領域が広がれば広がるほど，その外側に暗示領域は広がっていくんじゃないかと思うんですね。そういう実在しないけど確かにあるという感覚，それに対する畏れっていうのは，人間にとってわりあい大切なものじゃないかと思う。自然を畏れるというのは，日本人の感情の中にずっとありますからね。そういう何かの畏れの世界，ないんだけどそういう世界があるという空気感を，谷内さんはとても大事に描いた画家ではなかったかと思います。でも，谷内さんは，それをおどろおどろしいかたちであまり出さないない人ですね。実質的にはおどろおどろしいけど，それをあくまでも「おかしみ」というオブラートに包んで出すというのがあの人の方法論だったんじゃないかと。やっぱり恐いんだけどプッと笑ってしまうような。

ほんとこの国は，技術文明の上では巨人になった。ところが芸術文化の上では，でくの坊になってしまった。あまりにも経済的発展だけを考えすぎたとか，全てお金で換算するような習慣がつきすぎたとかいろいろ理由はありますね。だいたい今の日本人は，芸術文化にお金を使わない。物は高くてもすぐ買うのにね。そういう意味でも，谷内さんは，今，特に今，僕らが忘れちゃいけない人なんじゃないかなと思います。

（2002年6月2日・上野毛キャンパス講堂にて開催した講演内容より抜粋させていただきました。）



夜の公衆電話（1974）谷内六郎

天野祐吉（あまのゆうきち）コラムニスト・童話作家
1933年東京生まれ。創元社，博報堂などを経て独立し，1979年に『広告批評』を創刊する。現在は，エッセイのほか，マスコミを対称とした評論・コラムを執筆。また，コメンテーターとしてTVに出演するなど幅広く活躍している。

谷内六郎（たにうちろくろう）画家
1921年東京生まれ。1955年第1回文藝春秋漫画賞で画壇へデビュー。翌年『週刊新潮』創刊より表紙絵を担当。以後，亡くなるまでの25年間にわたり，心の片隅にある「原風景」を見事に描き，多くの人々の心を魅了してきた。1981年に死去。享年59歳。

参考書籍
谷内六郎文庫（マドラ出版）
①『旅の絵本』②『遠い日の歌』③『北風とぬりえ』

会長　東海林 隆（S32図案）

校友会が発足してから丸7年が経ちました。皆さま方のご努力で徐々にですが確実に充実しています。今までの活動は，会員名簿の作成（今度新しく発刊）や奨学金の給付，支部展覧会支援，小品展の開催等々，内部充実のためのものが主でした。この先，校友会が健全に発展していくためには，内向きだけではいけないと思っています。どんな学校，企業，団体でも，社会に対して働きかけがあるから存在価値があります。社会に向けての新しい事業を始めたいと考えています。単なる仲間の集いではなく，社会に役立つ活動を継続して行うことによって校友会の未来がより確かなものになると信じています。皆さまからの良いご提案を頂ければ幸いに存じます。

副会長　稲垣行一郎（S34図平）

多摩美術大学校友会も7年を迎えました。日頃からご協力いただいている会員の皆様には，心から感謝申し上げます。多摩美術大学が健全に発展していくには，例えるなら三つの車輪，大学，学生，校友会が，共に働くことであり，このうち1つの車輪でも欠けてしまえば，車輪は機能しなくなります。「大学には，65年の歴史があります。創立後7年の校友会が発展していくには，内部の充実と共に，そろそろ外部に目を向け，校友会から発信していくことも重要である。」との会長からの提案に基づいて，理事会で発足されたプロジェクト委員会は，さまざまな分野においてご活躍されている校友会の皆様からの豊富なアイディアをいただきたいと思います。これを大学，社会に役立つ校友会からの発信としていく為に私も努力してまいりたいと考えております。

（新）副会長　鶴見雅夫（S34油画）

この度，わたなべひろこ前副会長のあとを，微力ではありますが引き受けることになり増々精進を重ね，東海林会長の補佐をさせていただきます。発足以来の稲垣副会長に協力し，新風となる様にお手伝いしたく思っております。本年で7年を迎え，さらなる高い志をもって，巾広く多摩美術大学の卒業生の会員増に結びつくよう，また参加しやすい校友会を目指し努力し会員のお役に立てるよう考えています。また準会員（学生）の皆様ともコミュニケーションをとり，今後の校友会に少しでも取り入れて，普段着のままの意見を聞き，校友会のさらなる発展に努力したいと思います。

（新）理事　田辺光彰（S36彫刻）

上野毛の多摩美入口の石の作品は，以前と変わらない姿でそこにあった。芸術という途方もないものを選んでしまって，ここで学び，しかし私はまだこの道を彷徨い歩きつづけている。今，私の心は熱帯の中に同化しつつある。「野生」を追って深く入りこんでしまったようだ。しかしこの野性の中にこそ，生の鼓動があり，そのものすごい魅力に私は憑かれているのだ。しかし時として，故郷の多摩美にむかう自分が，まだある。

（新）理事　清水満久（S46GD）

この度，校友会理事として多摩美大卒業生の交流，大学との連携の仕事を微力ながらさせていただくことになりました。私はこれまでも，多摩美卒業後，図画工作・美術教育に携わっている皆さんの連携の場としての多摩教育の会の事務局として活動してきました。引き続き，美術教育の発展に寄与する事業を校友会全体でも取り組めていければと考えています。東海林会長のもと，地域や美術を志す後輩に役立つ新しい事業など工夫していけたら幸いと思っています。

（新）理事　菅原公毅（S56PD）

1981年PD卒の菅原です。別ページで紹介されている「ぐんたま」にも参加しています。IT系のメーカーに勤務し，モノ作りで社会に貢献する立場にありますが，コト造りにおいても文化や心の問題を踏まえつつ諸先輩達と意見を交わしたいと思います。そして，校友会での活動を通して多摩美の発展，および情操教育への啓蒙を日本から世界に向けて発信していきます（夢は大きく持ちましょう）。学生時代にきっちり鍛えられた成果を活かせるよう頑張りますので宜しくお願いします。

（新）理事　桧垣 檀（S43染織）

我が校友会は，発足以来未だ7年という若さで，発展途上の段階だといえます。社会への働きかけを強め，また多摩美ブランドの向上を心がける等努力するべき目標は多々ありますが，先ずは，その原動力たる，会員の数を増やし，力をつけるべく，各都道府県に少なくとも一つは欲しい支部の数が，未だ半分。一つでもその数を増やす様，努力して行きたいと考えております。どうぞ皆様方には身近な卒業生にお声をかけて頂き，会員を増やすべく，御協力の程よろしくお願い申し上げます。

（新）理事　塩川 岳（H3油画）

大学を卒業して10年余り，多摩美出身の作家やデザイナーが沢山活躍している事をあらためて感じています。在学中よりも，むしろ大学を出てから他科の卒業生との交流，仕事上での共同プロジェクトと，思わぬ所でのTamabiの出会いに嬉しさと誇りを感じています。70年近い多摩美の歴史を踏まえ，我々の世代なりの視点で校友会を考え，校友会だからこそ出来得るプロジェクトの提言，多摩美の「点」を様々な「線」に繋いでいくお手伝いが出来ればと思っています。

（新）佐賀支部長　松尾武彦（S27油画）

高校生の頃，地元の内山孝先輩，高崎文夫先輩に刺激をうけ昭和26年春，油絵科に入学でき，2年生の秋には家業の都合で退学せざるをえなくなりました。いつの頃か多摩美時代親しくしていた真鍋博君，飯田四郎君のすすめで，校友会に入会させていただきましたが真鍋君が鬼籍に入り，こんな残念なことはありません。4年程前，小野天山先輩の誘いをうけ県校友会にたびたび出席するうち皆様と親しくなり，今回計らずも支部長の席をけがすこととなりました。ご存知の様に県内には国内外で活躍の仲間が多いので大変な役を引き受けまして，校友会とのパイプ役として私なりに努めさせて頂きますので，よろしくご指導の程お願い申し上げます。

（新）千葉支部長　神谷紀雄（S38彫刻）

学校を出て，何年になるだろう。卒業と同時に初めた陶芸，これしか無いと続けている陶芸あと何年出来るだろう。自分の中にある何かを見つけ出そうと作陶を続ける毎日です。こう云う私が支部長を引き受けることになりました。皆様の協力を宜しく御願い申し上げます。

（新）群馬支部長　下田紀史（S40油画）

平成11年8月，多摩美群馬校友会発足。36名。13年9月，高崎シティーギャラリーにて第1回校友会展「ぐんたま」開催。この3年間，岡本前支部長のおだやかな人柄ときめ細やかな心配り，そして強い情熱，行動力が多くの人を引きつけ結びつけ，現在60名の会となった。その後を継ぐこととなりあまりに非力な存在であることを痛感しながらもなんとか事務局，幹事の方々の協力を得てその任を果たしていきたいと考えています。今後，会の更なる充実発展に向け行動を起こしていくことが母校多摩美の発展にも多少なりとも寄与できるのではと考えます。今夏，オープンキャンパスバスツアーを実施，高校生33名が参加。

収支報告書・予算

平成13年度収支計算書　　平成14年度予算

●収入の部　（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	予算額	前年度比
〈当期収入合計〉	34,950,000	40,358,510	△5,408,510	45,750,000	103,9%
会費収入	30,000,000	36,130,000	△6,130,000	30,000,000	100,0%
名簿収入	50,000	58,040	△8,040	2,500,000	5000,0%
懇親会費	450,000	360,000	90,000	400,000	88,9%
大学助成金	2,500,000	186,870	2,313,130	200,000	8,0%
利子収入	150,000	399,783	△249,783	150,000	100,0%
名簿出版準備金からの繰入収入	0	0	0	10,000,000	
雑収入	300,000	2,743,567	△2,443,567	2,500,000	833,3%
奨学金基金	1,500,000	480,250	1,019,750	0	0,0%
〈前年度繰越支払資金〉	19,181,839	19,181,839	0	16,143,698	84,2%
収入合計	54,131,839	59,540,349	△5,408,510	61,893,698	114,3%

●支出の部

科目	予算額	決算額	差異	予算額	前年度比
〈経費支出〉	19,364,000	16,030,701	3,333,299	30,264,000	156,3%
広報費	500,000	1,126,965	△626,965	1,200,000	240,0%
名簿作成費	2,200,000	953,652	1,246,348	10,200,000	463,6%
企画運営費	1,950,000	2,029,716	△79,716	1,550,000	79,5%
総会費	1,500,000	1,373,235	126,765	1,500,000	100,0%
助成活動費	3,264,000	2,786,509	477,491	3,264,000	100,0%
会議費	100,000	64,603	35,397	100,000	100,0%
理事活動費	400,000	294,215	105,785	400,000	100,0%
交通費	700,000	428,340	271,660	700,000	100,0%
会合費	300,000	140,420	159,580	300,000	100,0%
備品・消耗品費	1,100,000	809,970	290,030	1,100,000	100,0%
通信費	1,800,000	2,781,306	△981,306	3,400,000	188,9%
振替手数料	150,000	54,830	95,170	150,000	100,0%
事務局員給与	1,300,000	1,126,940	173,060	3,300,000	253,8%
奨学金	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	100,0%
予備費	2,000,000	60,000	1,940,000	1,000,000	50,0%
雑費	100,000	0	100,000	100,000	100,0%
〈その他の支出〉	27,365,950	27,365,950	0	26,000,000	95,0%
基本準備金引当金	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000	100,0%
奨学金基金引当金	1,365,950	1,365,950	0		
名簿出版準備金引当金	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	100,0%
特別事業費引当金	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	100,0%
〈次期繰越支払資金〉	7,401,889	16,143,698	△8,741,809	5,629,698	76,1%
支出合計	54,131,839	59,540,349	△5,408,510	61,893,698	114,3%

基金積立

（単位：円）

科目	基本準備金	奨学金基金	名簿出版準備金	特別事業積立金	全基金積立額
平成7年度	9,000,000		4,000,000	1,000,000	14,000,000
平成8年度	11,000,000		5,000,000	2,000,000	18,000,000
平成9年度	10,000,000	2,399,561	1,000,000	1,000,000	14,399,561
平成10年度	5,000,000		2,000,000	1,000,000	8,000,000
			△10,000,000	△3,000,000	△13,000,000
平成11年度	10,000,000		3,000,000	3,000,000	16,000,000
平成12年度	10,000,000		3,000,000	3,000,000	16,000,000
平成13年度	20,000,000	1,365,950	3,000,000	3,000,000	27,365,950
平成14年度	20,000,000		3,000,000	3,000,000	26,000,000
			△10,000,000		△10,000,000
合計	95,000,000	3,765,511	4,000,000	14,000,000	116,765,511

第8回定期総会議事録

日 時　平成14年6月2日（日）　12：30～13：40
会 場　多摩美術大学 上野毛キャンパス（映像スタジオ）

● 開会の挨拶　司会：植村 博（S46彫刻）
● 議長の選出　稲垣行一郎（S34図平）
● 書記の選出　松下宣廉（S44日本画）
● 議長より総会成立条件の報告
（議決権の所有者3,801名中，出席者70名・委任状が479名）
● 議長が議事進行を宣言

＜議案第1号＞平成13年度事業計画の報告
● 和田達也事務局長（S56PD）より説明（資料の読み上げ，以下に抜粋）
○ 平成13年度新入生へのお祝として，八王子キャンパスに記念植樹（ソメイヨシノ6本・ザクロ2本・アンズ2本 - 4月1日）
○ 平成13年度新入生へのお祝として，上野毛キャンパスにベンチ・ダストボックスを寄贈（4月1日）
○ 美術学部・大学院入学式に，東海林隆会長が出席（4月6日）
○ 造形表現学部入学式に，東海林会長が出席（4月7日）
○ 平成13年度新入生全員へ，お祝として技法書『新しいイラストレーション入門』を進呈（4月6～7日）
○ 第36回校友会理事会開催（5月12日）
○ 第7回定期総会・支部長懇談会・懇親会＆ガーデン同窓会を開催（6月3日）
○ 平成13年度私費留学生奨学金給付（6月3日）
○ 記念講演会の企画・後援（生涯学習プログラム「デザインと手」秋山孝・岩倉信弥・佐藤晃一・司会：中森陽三 - 6月3日）
○ 第37回校友会理事会開催（7月21日）
○ 第38回校友会理事会・幹事会開催（10月6日）
○ 平成13年度校友会奨学金給付（10月6日）
○ 会報『alT』NO.7発行（11月1日）
○ 八王子・上野毛芸術祭への助成（11月1日）
○ 第5回美大校友会・同窓会親睦会（11月9日）
○ 第1回「準会員の会」八王子連絡会開催（11月21日）
○ 多摩教育の会「霜田静志先生の偉業に学び考える」シンポジウム・展示会の協賛（12月2日）
○ 第39回校友会理事会開催（12月15日）
○「2001多摩美術大学校友会小品展」開催（12月13～19日）
○ 第2回「準会員の会」八王子連絡会開催（1月10日）
○ 多摩教育の会「新春の集い」の協賛（1月12日）
○ 第40回校友会理事会開催（1月19日）
○ 第41回校友会理事会開催（3月2日）
○ 美術学部卒業式・大学院修了式に，わたなべひろこ副会長が出席（3月23日）
○ 美術学部二部卒業式に，稲垣行一郎副会長が出席（3月25日）
● 議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第1号は承認された。

＜議案第2号＞平成14年度事業計画（案）
● 和田達也事務局長（S56PD）より説明（資料の読み上げ，以下に抜粋）
○ 平成14年度新入生へのお祝として，八王子キャンパスに記念植樹（ソメイヨシノ8本・アンズ2本 - 4月1日）
○ 平成14年度新入生へのお祝として，上野毛キャンパスにベンチ・ダストボックスを寄贈（4月1日）
○ 美術学部・大学院入学式に，東海林隆会長が出席（4月5日）
○ 造形表現学部入学式に，東海林会長が出席（4月8日）
○ 平成14年度新入生全員へ，お祝として技法書『新しいシルクスクリーン入門』を進呈（4月5～8日）
○ 第1回「準会員の会」上野毛連絡会開催（4月8日）
○「第3回東京国際ミニプリントトリエンナーレ2002」協賛（4月28日～6月30日）
○ 第42回校友会理事会開催（5月18日）
○ 第8回定期総会・支部長懇談会・懇親会＆ガーデン同窓会を開催（6月2日）
○ 平成14年度私費留学生奨学金給付（6月2日）
○ 記念講演会の企画・後援（生涯学習プログラム「谷内六郎の宇宙」天野祐吉 - 6月3日）
○ 第43回校友会理事会開催（7月27日）
○ 第44回校友会理事会・幹事会開催（10月5日）
○ 平成14年度校友会奨学金給付（10月5日）
○『2002多摩美術大学校友会・卒業生名簿』発行（11月1日）
○ 会報『alT』NO.8発行（11月1日）
○ 八王子・上野毛芸術祭への助成（11月1日）
○ 第45回校友会理事会開催（12月7日）
○「2002多摩美術大学校友会小品展」開催（12月）
○ 多摩教育の会「新春の集い」の協賛（1月）
○ 第46回校友会理事会開催（1月18日）
○ 第47回校友会理事会開催（3月1日）
○ 美術学部卒業式・大学院修了式に，出席予定
○ 美術学部二部卒業式に，出席予定
● 議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第2号は承認された。

＜議案第3号＞平成13年度決算
● 金岡岩雄理事（S33油画）より説明※平成13年度収支報告書参照

＜監査報告＞
● 神田昭夫監査より報告
● 議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第3号は承認された。

＜議案第4号＞平成14年度予算（案）
● 金岡岩雄理事（S33油画）より説明※平成14年度予算（案）参照
● 議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第4号は承認された。

＜議案第5号＞役員改選（案）
● 和田達也事務局長（S56PD）より説明※資料参照
「今まで昭和の卒業生のみだったのですが，今回，平成の卒業生の方に新しく理事をひきうけていただくことになりました。会長に東海林様，副会長に鶴見様と稲垣様です。支部長理事として，継続して藤丸様と佐々木様にお願いしたいと思います。事務局長は私，専任理事は金岡様。事業部・組織部は，資料の通りの担当となっております。学内幹事代表の八王子は渡辺先生で，上野毛は松下先生です。」
● 議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第5号は承認された。
● 新任理事の紹介
◎ 質疑　河内成幸（S48油画）
「8ページの会計監査報告に，日にちが入ってないですが，入れておいたほうが良いのではないですか。」
◎ 応答　金岡岩雄理事（S33油画）
「失礼しました。さきほど神田理事から口頭で日時の報告がございましたので，これを入れてもう一度二人の監査役に見ていただきますので，よろしくお願いいたします。」

● 議長が全議案の成立を報告し，第8回定期総会の終了宣言をした。
● 挨拶　校友会会長　東海林 隆
● 挨拶　多摩美術大学理事長　藤谷宣人

■［お知らせ］第9回定期総会の開催

第9回定期総会を下記の日程で開催します。正会員の方には4月下旬に，詳しいご案内をお送りします。現在，同日に併せて各種イベントの開催を検討中です。 皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日程（予定）：2003年6月1日（日）
場所（予定）：本学上野毛キャンパス

■［ご報告］『2002多摩美術大学校友会・卒業生名簿』11月発行

1998年の初版から情報を更新して，11月に新しい名簿が出来上がります。卒業生約27,000名の情報を掲載し，新たに校友会の沿革と旧教員名簿のページを充実しました。名簿は発行したその日から，また引き続いて情報の追加・更新を行います。今後も，転居や転職の際は，事務局まで情報をお知らせいただきますよう，ご協力をお願いいたします。また，本会では名簿の発行によるトラブルを防ぐため，情報は出来るだけ慎重に管理・対応し，名簿は関係者のみの閲覧・配布としています。この名簿は，会員のコミュニケーションツールとして，有効にご活用いただけることを願って作成しています。送料込み，一部5,000円で販売いたしますので，ご希望の方は事務局までお問合せください。
（※専用の郵便振替で代金をお振込みいただいた後，事務局よりご送付いたします。）

■［お知らせ］HPのリンクや展覧会・イベント情報を募集

校友会のホームページでは，卒業生の展覧会やイベント情報を掲載しています。事務局へDMやフライヤーを一部お送りいただければ，随時掲載いたしますので，ぜひご利用ください。年齢・地域・ジャンルを問わない情報スペースとして，さらに“使える”ホームページにしたいと考えています。しかし，現在webに詳しいスタッフが不足しています。アイデア・技術などで，ご提案・ご協力いただける会員の方は，ぜひ，ご一報をお願いします。

■［お知らせ］造形表現学部デザイン学科のホームページを開設

造形表現学部デザイン学科では，独自のホームページを開設しました。この学部の前進である美術学部二部デザイン学科卒業生のお仕事紹介コンテンツや，皆さんの近況投稿もできます。リアルタイムのデザイン学科情報はもちろん，現役学生との交流もはかれますので，ぜひ，アクセスしてみてください。（造形表現学部デザイン学科）

■［ご報告］第8回定期総会・ガーデン同窓会＆懇親会のご報告

2002年6月2日（日），午前中の支部長懇談会から始まり，定期総会，講演会，ガーデン同窓会＆懇親会と，夜6時まで上野毛キャンパスに卒業生が集いました。

今回，皆様の一番印象に残った出来事は“通り雨”ではないでしょうか。午前中からスタッフ一同，ガーデン同窓会の準備を進めていましたが，晴れわたっていたはずの空の雲行がだんだんあやしくなり，中庭でのパーティー開催からまもなく，激しい雨にみまわれました。スタッフも卒業生も皆で，皿やグラス片手に慌てて学食へ避難し，予想外の展開となってしまいました。しかし，雨は一時的なものですみ，再び雨上がりの中庭へと戻り，フラメンコや管弦楽の演奏を楽しむことができました。「大変だったけど，雨のお陰でかえって皆が団結したような気がする。」「雨上がりの空がきれいだった。」などの声を聞き，事務局では，皆様に不快な思いをさせてしまったものと気落ちしていたところをかえって励まされました。本当は青空の下，美しい緑の木々に囲まれて生ビールやワインを飲んで，ゆったりとした時間を過ごしていただく予定だったのですが，天候だけはどうにも打合せ通りにはいきませんでした。設立してから8回目，はじめて雨となった定期総会でした。

今から来年の開催にむけて，企画準備中です。同日に，同窓会をはじめ，何かイベントを行いたいなどのご要望がありましたら，ぜひ事務局までご連絡ください。（事務局）

中庭でパーティーを楽しむ卒業生

■［訃報］

謹んでお悔やみ申し上げ，ご冥福をお祈り申し上げます。

小谷博貞（S16図案）校友会北海道支部会員
山名有世（S27図案）本学元講師・校友会幹事
丸山 剛　（S48GD）本学助教授・校友会理事

チャリティ展覧会

■ チャリティ展覧会「2002多摩美術大学校友会小品展」

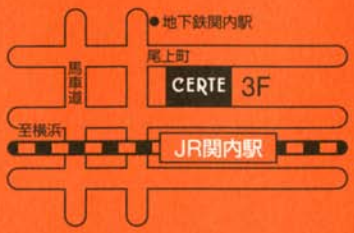
1998年から毎年12月に開催している「多摩美術大学校友会小品展」を，ご存知ですか。この「小品展」は，校友会が行っている大きな行事のひとつで，大変意義深いものです。

そもそも，「近年，不景気で多摩美の私費留学生が学費の支払いや生活に困っているケースが多い。そんな彼らの制作・研究の手助けができないものか。」との学内幹事の話が始まりでした。しかし，校友会自身もまだ資金面で体力のある状態ではなく，なかなか予算化までふみきることができませんでした。その後，「作品のチャリティ販売で協力できないだろうか?」という会員の誠意によって実施するにいたりました。年々売上を伸ばすことができ，その売上げ金から毎年，私費留学生5名に奨学金を給付しています。

ギャラリーを提供してくださる会員，搬入・搬出を手伝ってくださる会員や学生，受付を手伝ってくださる会員，会場に足を運んで作品を購入してくださる会員，そして作品を出品してくださる会員と，それぞれの立場で多くの方々に関わっていただいているお陰で，ここまで続けることができました。今後もこの展覧会を続けていくために，もっと多くの会員の方々に参加していただきたいと思っています。会場に足を運んでいただけるだけでも大歓迎です。

今年は，横浜の関内へ会場を移しての開催です。いつもの作品発表の場とは違った，会員の交流の場としても楽しんでいただけるよう準備を進めています。会場では100点以上の作品が展示，販売されます。ぜひ，お気軽にお立ち寄りください。なお，今回のご出品の申し込みは，締切りとなりましたが，毎年9月～10月頃に募集していますので，次の機会には，卒業生の皆様のご出品をお願いいたします。（事務局）

会期：2002年12月15日（日）～21日（土）11:00～18:30
　　初日17:00オープニングパーティー／最終日17:00 CLOSE
会場：ガレリア・セルテ／せんたあ画廊
　　横浜市中区真砂町3-33　tel.045-651-1431（代）
　　JR・地下鉄「関内」駅前 CERTE 3F



校友会奨学金制度

■ 平成14年度 私費留学奨学生

6月2日の授与式後，上野毛キャンパス中庭にて撮影

李令敏	リレイビン	（中国）	大学院油画1年
徐賢珠	ソヒョンジュ	（韓国）	大学院版画1年
金喜廷	キムヒジョン	（韓国）	美術学部芸術4年
李彩瑩	イチェヨン	（韓国）	大学院デザイン1年
金慧栄	キムヘヨン	（韓国）	大学院工芸2年

■ 平成14年度 校友会奨学生

10月5日の授与式にて，会長・副会長と撮影

辻牧子	美術学部油画4年
栗崎美鈴	美術学部グラフィック4年
林恩伶	美術学部建築4年
井立彩子	美術学部情報デザイン3年
渡抜亮	美術学部油画2年
熊崎阿樹子	美術学部版画4年
石橋貴男	美術学部彫刻4年
森川健太	造形表現学部映像演劇4年
竹綱彩乃	造形表現学部映像演劇3年
三川貴也	造形表現学部造形4年
小見山早雪	造形表現学部デザイン4年
菊地亜沙子	造形表現学部デザイン4年
小山祥吾	大学院（前期）工芸1年
武藤梓	大学院（前期）デザイン1年
井上貴美	大学院（後期）美術1年

■［ご報告］群馬支部

ぐんたま!?が多摩美にやって来た。

とても暑い工房で，ガラス実習を間近で見学

プロダクトデザインの特別講義（入門編？）

7月12・13日の2日間にわたり，本学八王子キャンパスで，「オープンキャンパス」が開催され，来場者約3,000人という盛況ぶりでした。13日（土），群馬支部（通称：ぐんたま!?）の下田支部長をはじめとする卒業生が，「2002オープンキャンパスバスツアー」を企画，バス1台をチャーターし，地元の美大進学希望の高校生33名を引率して八王子キャンパスに“自力”でやって来てくれました。大学職員がキャンパス施設の説明をし，各研究室では教員が高校生の質問に対応し，卒業生がそれを見守っている…そんなさまざまな場面は，支部と大学と校友会が，アート・デザインをひとつの軸として，自然に交流できる微笑ましい時間でした。キャンパス内をぐるぐる歩きまわり，高校生も体力的には随分と疲れきった様子でしたが，美大という場を体感し，現実的な将来の夢として実感できたのではないでしょうか。群馬支部関係者の皆様，猛暑の中，本当にお疲れ様でした。これからも，目をキラキラさせた“ぐんたま!?”予備軍が増えることを楽しみにしています。（事務局）

疲れましたか？ 最後に八王子キャンパスで参加者全員で記念撮影

■［ご報告］長野支部

展覧会　有志作品展「'01タマビ in MATSUMOTO」
会　期　2001年11月1日（木）～6日（火）
会　場　松本市Mウィング展示ギャラリー

■［ご報告］神奈川支部

展覧会　「多摩美術大学校友会神奈川展」
会　期　2002年3月11日（月）～16日（土）
会　場　横浜市民ギャラリー3F

■［ご報告］ちゃかほい会（有志）

展覧会　「三澤覚藏の世界」
会　期　2002年5月25日（土）～30日（木）
会　場　銀座東和ギャラリー

■［ご報告］広島支部

展覧会　第5回「2002 ART NOW展」
会　期　2002年7月2日（火）～7日（日）
会　場　広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

■［お知らせ］神奈川多摩美同窓会

展覧会　第2回「2002 festa ALTE」
会　期　2002年11月19日（火）～27日（水）
会　場　ガレリア・セルテ
（JR・地下鉄関内駅前CERTE3F tel.045-651-1431）

■［お知らせ］多摩教育の会 ～新春の集い～

日　時　2003年1月11日（土）
総　会　14:00～総会・15:00～講演会・16:30～懇親会
会　場　本学上野毛キャンパス図書館3F

■［お知らせ］福岡支部

展覧会　「多摩美術大学校友会福岡支部小品展」
会　期　2003年3月4日（火）～9日（日）
会　場　ギャラリーSEL
（福岡市中央区天神新天町南通・紳士洋品シノハラ2F
tel.092-741-4890）